

別紙A

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立高花平小学校

校長 原 由 香 里

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- 保護者・地域住民が学校づくりに主体的に参画できる協議会を設置し、意見交流や相互理解を通じて地域コミュニティづくりの推進に努めます。
- 保護者や地域の方々との協働連携による学習支援や児童安全見守り等活動を継続発展させ、学校・家庭・地域が一体となった児童育成をより一層推進します。
- 継続してきた学校評価を、より実効性のあるものへと高め、保護者や地域の方々の願いが反映できる教育活動を創造します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

<登下校時の見守り活動>

本地域は、PTAと連合自治会の方々が連携して登下校の見守りを行っています。車の通りが激しい押しボタン式信号交差点を中心に安全確保を行いました。また、最近頻繁に通学路に出没する猿による被害を防ぐため自治会とも連携をとっています。その他、登下校の見守りとともに挨拶のできる子どもたちの育成にも力を入れています。

<クリーン作戦>

5月と9月に地域の方々とともに校内除草清掃をおこなう「クリーン作戦」を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

<クラブ活動指導>

グランドゴルフクラブと高花平将棋クラブの方々に協力いただき、学校のクラブ活動の指導をしてもらっています。今年は年6回活動がありました。ルールや技術指導だけでなく、子ども達と一緒に対戦やプレーをしてもらいました。子ども達は、大変楽しみにしており、地域の方々の交流の場としても有意義な活動となりました。

<総合的な学習の時間「高花平のすてきな人」>

3年生が地域で活躍の方々からお話を聞くという学習に取り組みました。コミュニティスクー



ルが中心となって人材発掘に取り組み、10名の地域協力者が授業に協力しました。子どもたちは聞き取った話をまとめ、発表して交流しました。子どもたち、地域の方々どちらにとっても有意義な活動となりました。来年度以降も継続していきたいと考えています。

<地区合同防災訓練>

1月15日(土)に実施しました。実施までに学校、自治会が何度も協議を重ねました。しかし、新型コロナウイルス感染者が急速に拡大したため、内容を防災学習に変更して実施しました。

子どもたちにとって、防災に関する知識を身につけることができる良い機会となりました。



<授業参観と学校運営・教育活動に関する意見交換>

本年度は、コミュニティスクール運営委員の方々に、授業参観をしてもらいました。参観後、授業や児童の様子を含め、学校運営や教育活動に関する意見を交換しました。今年度はICTを活用した授業についての意見がたくさん出されました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

- 毎日の登下校指導を通して、地域の方々と子ども達が顔見知りとなり、挨拶を交わす関係となったことで、地域と子ども達、学校のつながりが深まりました。
- コミュニティスクール運営委員会で意見交換をすることで、地域での子ども達の様子を知ったり、学校の取り組みの成果や課題を再認識したりすることができました。また、学校の授業の様子から、学校の取り組みや子ども達の頑張りを委員の方々に理解してもらうことができました。
- 今年度は、地域と学校が連携して企画・準備することができ、地域資源活用プログラムが大きく前進しました。

3 今後に向けて

今年度は、地域人材の発掘、学校との連携という点で大きく前進しました。来年度以降も更に地域・学校の連携を深めることで、子ども達の成長につながる活動を行っていききたいと考えています。

しかし、今年度も多くの活動が、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となってしまいました。地域の教育力を活用した活動は、豊かな人間性の育成という面で大変有意義であり、地域の方々と子ども達の交流を図ることもできます。来年度は、今年以上に様々な活動が再び行えるよう工夫をしていきたいと考えています。